

教育委員会だより

第40号 (令和6年9月～12月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314

e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

未来を担う 子どもたちを育む

教育長 高橋利行

「岐阜県教育振興基本計画」が昨年3月に改訂され計画実施の新しい5年間で今年度から始まりました。「目指す人間像」として「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」(傍点筆者)が掲げられています。傍点にある「育んだ」という言葉に目を引かれました。これから育んでいくのではなく育まれていくことを前提として次へ踏み出していくという強いメッセージがあるのではないのでしょうか。世界ではウクライナや中東で今も悲惨な状況が続いています。手放しで明るい将来を夢見ることは難しいのかもしれませんが、これからの社会を担う子どもたちにこそ「よりよい未来の実現に挑み続ける」人になって欲しいという願いを感じました。

池田町も県の基本計画を受け、来年度に向けて

「教育大綱」を作成しています。幸い

池田町は豊かな自然に恵まれています。また、地域の皆様が学校教育に関心を寄せ、いろいろな面で学校に協力し、地域で児童生徒を育てようとしていただいています。これからの学校には、児童生徒を学校の中で育てていくだけでなく、池田町の恵まれた環境の中で豊かな体験活動をさせていただきな

ら、町全体として未来に向けて「挑み続ける」たくましい人となるような教育を実施することが大切だと考えています。皆様には、将来を担う児童生徒の育成に今後ともご協力をお願いします。

全国学力学習状況調査の結果より

4月18日に小6、中3を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。

まず、教科に関する調査(小学校は国語・算数・中学校は国語・数学)では、県の平均正答率と比較すると池田町・養基組合教委管内の平均としては、小学校は県平均よりもやや低く、中学校はやや高いという結果となりました。基礎・基本は身に付きつつありますが、必要な情報に着目して読み取り要約する力、問題解決の方法を筋道立てて説明したりする力に課題が見られました。

次に質問紙調査では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査が行われ、次のことが分かりました。

○小学校も中学校も学校へ行くのは楽しいと感じている子が増えている。

○自分には、よいところがあると感じている子が増えている。

△自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くことができる子が増えている。

△ICT機器を学習に十分に活用していると感じられていないところがある。

△困りごとや不安があるときに、いつでも相談できると回答した子が県平均よりやや低い。

学校では、落ち着いた信頼感のある学習集団づくりを核として、タブレットなどの情報機器を有効に活用しながら、自分の考えをもち、主体的に学習に取り組めるようにしていきます。仲間との対話を取り入れ、多面的に考えたり、考えを仲間

に伝えたりしながら、学びを深められるような授業づくりをめざします。

自己肯定感が高まりつつあるので、引き続き、よいところを具体的に認め、励まして、どの児童生徒も「自分のよさ」を自覚し、夢や希望がもてるようにしていきます。心の状態に常にアンテナを働かせ、積極的な声かけや気軽に相談できる体制づくりを行っていきます。基本的な生活習慣や情報環境、地域貢献についても、家庭や地域の協力を得ながら指導を進めていきます。

対話活動を楽しむ池田っ子

10月31日、池田町・養基組合教育委員会指定の研究発表会が池田小で開催され、町内小・中学校の先生方が授業参観と研究討議を通して、池田小の研究実践を学び合いました。

池田小では、「対話活動を通して、仲間と学び合える児童の育成」という研究主題を掲げ、三年間にわたって国語科の指導に重点を置いた研究が推進されてきました。

1時間の学習過程の中で、「つかみ対話、知り対話、求め対話、考え対話、深め対話、見つけ対話」

話、まとめ対話」の中から重点的な活動を取り入れて児童の学びを広げ、深めていくという研究で、3人の児童でチームをつくり、対話活動を行っているそうです。

授業参観の前に3～6年生児童による校歌合唱と6年生の合唱を聴きました。美しい裏声が印象的でした。次に、対話活動についての思いを6年生代表児童が語り、デモンストレーションをもとに説明してくれました。「対話活動を行うと、授業の課題が解決しやすい」と語ってくれた子がいました。



授業参観後には、多田孝志先生（金沢学院大学教授）の講演「感動を生起させる対話型授業の考え方と実践方法」を拝聴しました。実際に対話活動を取り入れた講演会であり、楽しそうに、熱心にメモを取られる先生方の姿が印象的でした。



その後、学年部別研究討議が行われ、参観者の先生方から質問や感想、活発な意見が多く出され、有意義な研究発表会になりました。

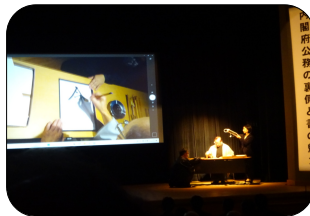
市町村教委連絡協議会研究総会

10月29日に高山市民文化会館で、「令和の日本型教育推進に向けての教育委員の使命」をテーマとし、総会、講演会、実践交流会が行われました。

総会では、連合会会長や来賓の挨拶で、「多様性を大切にした教育」の重要性を話され、今日的な課題であることを感じました。

講演会は、講師に茂住菁邨氏（書道家・元内閣府職員）

を迎え、「内閣府公務の裏側と書の魅力」という演題で講演がありました。実際にステージ上で、色紙に文字を書くことから始まり、その中の一枚に、内閣府の辞令職だった時に書かれた年号『令和』の文字がありました。その文字の説明やその時の裏話など、興味深い話を聞くことができました。また、辞令書き一筋で仕事をしてきたことが認められ、重大な仕事を任せていただけただことに感謝しつつ、一つのことをやり抜くことは、教育でも大切であることを自身の経験から熱く語られました。



午前の最後のアトラクションは、高山市立丹生川中学校の生徒の皆さんによる「私たちが『にゅうかわ学』を通して学んだ事」という題で、自分たちが作成した丹生川の自然の紹介映像の発表がありました。郷土を愛する心が育まれていることを発表する姿から感じることができました。

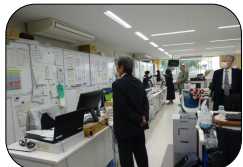
午後からは、4分科会に分かれ実践交流会を行い、有意義な一日となりました。

北方町立北学園を視察しました

11月14日に北方町立北学園、オンリー1（不登校児童生徒を対象にした学校）の視察をさせていただきました。北学園は、3小学校と1中学校を2校に、1幼稚園1保育園を1園に統廃合された義務教育学校で、オンリー1は学びの多様化学校です。

まず、北方町教育委員会教育長 名取康夫氏より、義務教育学校への再編の経緯や教育力の向上に向けて目指

しておられる教育の特色や施設について説明をしていただきました。その後、実際に学校内を巡り、施設設備や子どもたちの様子を参観し、質疑応答の時間も設けていただきました。北方学園構想を発表してから学校構想委員会を立ち上げ、いろいろな方と意見交流しながら、再編に向けての課題を解決するため対応策を考え、進めてこられたことが分かりました。これからの学校の在り方を考えていくためのヒントが詰まった視察となりました。



南部校長会との合同会議を開催

11月18日に開催し、教育長のあいさつ後、各小中学校の校長から前期の学校教育に関するアンケート調査結果について報告と説明がありました。これは児童・生徒並びに保護者、教職員を対象に行われ、学校生活や家庭生活、教育活動をふりかえり、成果と課題をより良い学校づくりに生かしていくために行っているものです。

また、あわせて学校教育と家庭教育との関わりについて説明があり、質疑応答・意見交換を行いました。

それぞれの家庭が持つ教育のあり方や考え方、価値観の多様化が進んでおり、各学校が目指す子どもの姿や教育活動のイメージとの差異を情報交流等で縮め、さらに相互理解を図っていくことが重要であるといった意見がありました。

学校、家庭、そして地域それぞれが持つ教育力が相互に関わり合い補完しながらバランス良く機能し続けることが、多様性の時代を生きる子どもたちの育成に不可欠であると感じました。

教育委員会学校訪問を行いました

9月18日に八幡小、19日に温知小、宮地小、20日に池田小、24日に池田中、25日に養基小に教育委員会訪問を行い、学校の子どもの様子を参観しました。

温知小では

はじめに校長先生から、教室内は適切な温度のもとで学習が進められるが、外では暑さが厳しく、運動会に向けて取組が十分にできないこと、廊下も異常な暑さのために掃除時間を短縮していること等のご苦労を伺いました。その後、全学級の授業を参観し、以下のような感想が出されました。



- ・先生の元気が子どもに反映していた。褒め言葉の多い先生の学級は、子どもの声にも勢いがあつた。

- ・実践豊富な先生方の指導ぶりを若い先生方が取り入れたり真似したりできるような職員研修を実現してほしい。
- ・以前に比べると、大型テレビやタブレットを活用する授業が多く見られ、効果的なICT活用がなされている。
- ・4年生でローマ字入力ができる子がいた。

- ・一斉指導の中に小集団学習を効果的に位置づけるために、より具体的に適切な学習課題を位置づける必要があるのではないだろうか。

- ・特別支援の4学級は、同じテーマで学習していたが、それぞれの実態に応じた工夫した指導がなされ、統一感を感じた。

一斉授業からの脱却や小集団を取り入れた学習が、児童一人ひとりの確かな学びにつながっていくことを期待

しています。

池田小では

まず感心したのは校内がとてもきれいで整理整頓が行き届いていることです。きれいな落ち着いた雰囲気で学校生活を送ることができるのは、何をおいても大切なことでしょう。

授業を参観して感じたことは、どのクラスも非常に落ち着いて授業に取り組めていました。発表の場面では、発言者ははつきり話し、聞く側は発表者に顔を向けてしっかり聞き、終わると元氣よくハンドサインで反応していました。先生と子どもたちの良好な関係性を感じ取ることができました。

3人ずつ互いに対話する授業では、子どもたちが互いに意見を出し、時には教えたり理解し発言したりすることで、より授業内容が深く理解できると感じました。

算数の習熟度別学習では、同じ単元で同じ問題を解く課題でも、先生の教え方も接し方も異なっていて、算数が得意な子にも苦手な子にも、意味のある時間だと感じました。

宮地小では

はじめに校長先生から、次のような説明がありました。

- ・夏休み中に全室の照明LED化、1階床の張替え実施。

- ・職員研修で防災をテーマに「HUG」（避難所運営ゲーム）を実施。

- ・家庭教育学級で助産師による「いのちの授業」を実施。



次に授業参観のポイントとして、「かぎカード」の使用による視点の明確化と児童が主役になれる授業づくりについて説明がありました。また、本年度より宮地小では、2年生と3年生とが複式学級となっており、学級活動の授業は一緒に学んでいます。今回の訪問ではその授業も参観し、次のような感想が出されました。

- ・どの学年の児童も先生や仲間の発言をしつかり聞き、受け止めようとする「傾聴」の姿勢が素晴らしい。

- ・1クラスが小規模ということもあつてか、発言の際の声が小さいとより小さく感じることもある。

- ・複式学級の学級活動では、学級遊びについて、その遊びを選んだ理由を様々な視点を踏まえ、自分なりに考え発言できている。

- ・教師の目指すクラスの姿を具体的に子どもたちに積極的に伝えていってはどうか。

全校が一つの学級として目標に向かうことができる、そんな小規模校ならではの強みを生かした教育活動を今後も期待しています。

八幡小では

校長先生から夏休み明けの様子についての説明があり、例年以上の猛暑が続き、運動会の練習に計画通り取り組めないご苦労をお聞きました。

その後、全学級の授業を参観し教育委員との意見交流を行いました。

- ・先生方が明るく元氣で、いきいきと授業をしておられた。児童も元氣で楽しそうに授業を受けていて、先生との距離も近く、とてもよい関係が築けていた。
- ・タブレットを操作したり、大型テレビで教科書を大きく



く写したりと、ICT活用をした授業が見られた。ウェ
ブラーニングも多く取り入れ、確かな学力の向上につな
げていってほしい。

随所で児童から「こんにちは！」と元気な声をかけら
れ、「八幡小児童の挨拶は、天下一品」という声が聞か
れるほどでした。

養基小では

校長先生からの学校経営の重点につ
いての説明では、児童の実態分析から
見えてきた新たな課題を、根拠となる
データ資料を提示して話されました。

その後、全学級の授業を参観し、感
想を交流しました。

・昨年度まで研究してきた少人数「トリオ」で考える授
業が今年度も実践されていて、どの子も学習に参加し、
考えを深めている。

・ホワイトボードの活用、特別支援学級でのデジタル教
科書や学習課題など、子どもたちの集中力を高めるため
の工夫がどの学級でも見られた。

・ベテランの先生方や専門教科を指導する先生が丁寧で
分かり易い指導をされていた。

若い先生方が多い養基小では、全職員で学び合うこと
を大切にして授業研究に努められており、そのことは一
人ひとりを大切にした先生方の指導や落ち着いて学ぶ児
童の姿から感じることができました。

池田中では

はじめに校長先生と教頭先生より学校経営や生徒の状
況等に関する説明がありました。

・生徒会活動の活発化が顕著になり、生徒自身が学校生



活について深く感じ取り、かつ広い視
野で考える姿が見られるようになって
きた。それとともに、教師自身の資質
向上も期待される。

次に1年目の先生方を中心に公開授
業を参観し、その後の懇談会では次の
ような感想がありました。

・全体的に落ち着きがあり、集中して授業を受けている。
特に3年生はその傾向が顕著である。

・特別支援学級では、個別最適な学習ができるよう教材
の工夫が見られる。

・聞く姿勢が自然にできるのは、小学校で培われた賜物
である。小集団の対話による学習スタイルも継続性ある
ものにするこでより効果が発揮されると思われる。

学校訪問の翌日には、生徒会発案で1・2年生が3年
生の授業を視点を持って参観する授業交流が行われたよ
うです。今後も自身の考えを持ちながら行動に移すこと
で人間性・社会性の向上に繋がることを期待しています。

新教育委員就任



池田町教育委員 大角 ひとみ

10月より池田町教育委員に就任しました。
現在、小学校支援員として学校教育に携
わっております。どの子も自分らしく成長
できるよう学校・家庭・地域が連携し、子

どもたちを温かく見守り支援していける環境づくりがで
きるよう微力ながら皆様のお手伝いができれば良いと考
えています。また諸先輩方よりご指導いただき頑張っ
ていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



教育委員会の主な活動報告 令和6年9月～12月

編集後記

例年以上の猛暑で始まった9月でした。
運動会が10月に実施されるようになった
とはいえ、9月も中旬以降まで練習が行え
ない状況でした。今年度より平日開催とな
った運動会でしたが、多くの保護者の方、地
域の方が応援に駆けつけてくださいました。

教育委員会では、猛暑が続く9月に学校
訪問を実施しましたが、先生方が元気に生
き生きと授業をされ、児童生徒も先生方と
共に元気よく学校生活を送っている姿が印
象的でした。10月の池田小の研究発表会
では、少人数で対話しながら考えを深める
様子を参観し、コロナ禍で減っていた人
との交流が戻ってきていることが分かり、安
心いたしました。

今後も、教育委員会だよりでは、活動状
況を発信していきますので本日よりにつ
いて、お気付きの点があれば、お知らせく
ださい。

編集担当：林啓子・勝野茂優

日付	活動	場所
9月18日	教育委員会学校訪問	八幡小学校
19日	教育委員会学校訪問	温知小・宮地小
20日	教育委員会学校訪問	池田小学校
24日	教育委員会学校訪問	池田中学校
25日	教育委員会学校訪問	養基小学校
30日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
10月21日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
29日	岐阜県市町村教育委員会連絡協議会総会	高山市民文化会館
31日	池田町・養基組合教育委員会研究発表会	池田小学校
11月14日	北方町立北学園視察	北方町立北学園
18日	校長会との合同会議 合同教育委員会	庁舎会議室
25日	揖斐郡教育委員会連絡協議会研修会	池田町内
12月9日	合同教育委員会 教育委員会だより編集委員会	庁舎会議室
17日	初任者研修会	庁舎会議室

